

イ / 回目採取精液と2回目採取精液の性状について
 供試牛2頭について共通して認められた傾向は、

A	2回目の方が精子活力が優れている	13/15例 M号	18/23例 A号
B	精子濃度が低下している	13/15例 M号	20/23例 A号
C	果糖含量が多くなっている	13/14例 M号	16/22例 A号

であり、他に差異は殆ど認められなかった。

ロ 試験期間中の精液性状の変化について

A号においては、採取量、活力、精子濃度、畸形率等が、特に変化した事実は認められず、M号においても、採取量、精子濃度、畸形率については、変化が認められなかったが、活力が7月下旬より尙々低下した。

これはA号に変化が認められなかったことからして *Summer sterility* によるのではないかと考えられる。

なお、当初は、6月～8月末迄の予定でオ一次試験を実施したが、8月に入ってから、それぞれ乗駕回数並びに乗駕所要時間が増加し、M号においては、8月21日の2回目の採取が困難となり、試験の続行が乗務の運営に支障をきたすと考えられるに至ったので、8月21日をもって試験は一応中止のやむなきに至った。従って本試験について結論は出し得ないが、種雄牛の状態を観察し、試験の継続について、検討する考えである。

5 昭和37年度豚産肉能力検定試験(抄録)

宮川正夫 菅原兼太郎 大橋昭也

1 目的

種豚の産肉性に関する経済的能力を把握し能力の高い種豚の選抜普及を図る。

2 検定方法

当場繁殖の種豚から生産され、産子能力検定に合格した同胎子豚中から雄雌各2頭づつ計4頭を送んで1組とし、下記の10組について実施した。

その検定豚の血統は次のとおりである。

組 別	血 統		生年月日
	父	母	
37-S-1	東35-1 ツヒゴコエーラズフィールド	東33-50 マグネット ジョイフル	37.1.31
37-S-2	"	朝風紅梅マイタカ 34-4	37.3.1
37-S-3	"	ナムリードチドリミシマ3-1	37.3.28
37-S-4	東35-29 ジーエーキンリュポール	東33-47 マグネット スインポール	37.4.6
37-S-5	スインセル7ポールミシマ1-3	東35-29 ウイルミントンスイン	37.4.20
37-A-1	スイントンマイデシオンオクラ7-2	東33-5 ラズフィールド プリムローズ	37.8.11
37-A-2	東35-29 ジーエーキンリュポール	ツヒゴフジランズ カノー 5-1	37.8.21
37-A-3	スイントンマイデシオンオクラ7-2	東33-50 マグネット ジョイフル	37.9.5
37-A-4	ヤチマタロビンソンライオンカセ7-2	東33-47 マグネット スインポール	37.9.25
37-A-5	"	東36-21 ニュートンジーエーマデスイン	37.9.27

なお、検定は前期(体重20Kg~50Kg)と後期(体重50Kg~90Kg)とに区分し、この間、日本豚産肉能力検定研究会で規格統一した検定1号および検定2号飼料を夫々給与した。

その他管理についても、同研究会で決定した方法によった。

3 検定成績

(1) 飼料消費量および増体

組 別	検定終了時 の生後日数	検 定 所要日数	飼 料 要 求 率			全期間 飼 料 消費量	1日平均増体重		
			前期	後期	全期間		前期	後期	全期間
37-S-1	189.75 ^日	119.50 ^日	3.009	3.878	3.505	245.5 ^{kg}	506 ^g	665 ^g	586 ^g
37-S-2	185.50	118.25	3.002	3.770	3.441	240.4	512	668	590
37-S-3	186.25	112.00	2.928	3.530	3.272	228.8	517	740	625
37-S-4	186.25	107.00	2.599	3.593	3.168	221.5	572	731	653
37-S-5	190.00	116.25	2.837	3.891	3.440	241.6	523	683	604
37-A-1	190.00	122.50	2.816	4.058	3.519	245.9	542	613	580
37-A-2	199.00	123.25	2.732	4.211	3.575	250.9	554	585	571
37-A-3	189.00	122.25	2.795	4.041	3.507	247.2	544	619	577
37-A-4	202.60	116.25	2.807	3.655	3.292	230.1	504	702	601
37-A-5	199.20	119.50	2.904	3.734	3.379	237.1	506	675	587

(2) 屠体測定成績

組別	屠肉歩留	屠体長		背腰長			屠体幅	ロース		大割肉片の割合			脂層の厚さ		
		OM	OM	I	II	III		面積	OM	周長	カマ	ロース	ハム	背	腰
	%	OM	OM	OM	OM	OM	OM ²	OM	%	%	%	OM	OM	OM	OM
37-S-1	68.9	88.5	49.7	74.8	65.3	49.7	11.0	13.5	32.0	39.4	28.6	4.47	2.82	3.22	3.50
37-S-2	70.5	88.6	49.4	73.8	63.8	49.4	15.8	15.0	31.4	38.6	30.0	3.80	2.50	2.77	3.02
37-S-3	68.2	89.6	50.1	75.3	65.8	50.1	15.6	15.7	32.1	37.9	30.0	4.22	2.57	3.07	3.28
37-S-4	67.4	88.2	49.2	73.5	64.4	49.2	16.1	15.2	32.7	37.4	29.9	3.92	2.25	2.85	3.01
37-S-5	68.4	87.7	48.6	73.9	64.4	48.6	15.8	15.5	31.8	38.2	30.0	4.07	2.65	3.17	3.29
37-A-1	68.4	89.5	49.4	76.0	66.3	49.4	17.9	15.5	31.9	38.0	30.1	3.87	2.02	3.20	3.03
37-A-2	68.8	89.7	49.8	75.4	65.5	49.8	14.7	15.1	31.8	37.5	30.7	4.20	2.30	3.07	3.19
37-A-3	68.6	89.3	49.3	74.4	65.7	49.3	17.0	16.0	33.1	37.7	29.2	4.07	2.42	3.02	3.17
37-A-4	69.0	88.2	48.6	73.7	64.6	48.6	17.6	17.5	33.0	37.3	29.7	4.10	2.53	3.33	3.32
37-A-5	70.2	87.7	48.1	74.1	64.6	48.1	16.5	15.8	32.2	37.8	30.0	3.75	2.55	3.15	3.15

4 種豚検定成績

本年度の検定をもつて4群以上の検定を終了した種豚2頭雌豚1頭の検定成績の集計値は下記のとおりであつた。

(1) 種雄豚

(1) 東35-1ツヒコ、コーイー、ランスフィールド(5群20頭)

項 目	単位	平均値±標準誤差	最高～最低	標準偏差±標準誤差	変異係数±標準誤差	
検 定 日 数	日	118.10±1.45	130～107	6.63±1.05	5.61±0.89%	
検定終了時日令	日	193.35±7.13	216～182	31.89±5.04	16.49±2.74	
1日平均嚙体重	g	594±7.53	653～535	33.66±5.32	5.66±0.90	
飼料要求率		3.439±0.10	3.702～3.131	0.20±0.03	5.82±0.92	
屠肉歩合	%	68.89±0.36	71.6～65.7	1.60±0.25	2.32±0.37	
背 腰 長 II	cm	64.43±0.38	66.5～60.2	1.68±0.27	2.61±0.42	
コースの断面積	cm ²	14.65±0.66	19.5～8.5	2.94±0.46	20.07±3.17	
脂肪層の厚さ	肩	cm	4.18±0.10	5.2～3.0	0.45±0.07	10.77±1.74
	背	cm	2.42±0.12	3.1～1.1	0.55±0.09	22.73±3.95
	腰	cm	2.87±0.08	3.7～2.2	0.37±0.06	12.89±2.10
	平均	cm	3.15±0.08	3.70～2.10	0.38±0.06	12.06±1.96
ハムの割合	%	29.73±0.24	31.8～28.2	1.07±0.17	3.60±0.58	

(ロ) スインセルフポール、ミシマ、1-3(4群16頭)

項 目	単位	平均値±標準誤差	最高～最低	標準偏差±標準誤差	変異係数±標準誤差	
検 定 日 数	日	120.25±1.65	136～107	6.61±1.17	5.50±0.98%	
検定終了時日令	日	196.81±2.50	217～183	9.84±1.74	5.00±0.89	
1日平均嚙体重	g	583±7.77	646～514	31.07±5.49	5.33±0.95	
飼料要求率		3.517±0.07	4.042～3.117	0.26±0.05	7.39±1.37	
屠肉歩留	%	70.28±0.63	75.7～66.9	2.51±0.44	3.57±0.64	
背 腰 長 II	cm	63.87±0.48	66.8～60.5	1.90±0.34	2.97±0.53	
コースの断面積	cm ²	15.17±0.69	22.5～12.4	2.70±0.49	18.26±3.42	
脂肪層の厚さ	肩	cm	4.42±0.11	5.2～3.6	0.43±0.08	9.73±1.73
	背	cm	2.38±0.13	3.8～1.8	0.50±0.09	21.01±4.01
	腰	cm	3.08±0.13	4.2～2.4	0.52±0.09	16.88±3.05
	平均	cm	3.29±0.11	4.20～2.76	0.44±0.08	13.37±2.44
ハムの割合	%	29.41±0.31	31.3～26.5	1.52±0.22	4.25±0.77	

(2) 種豚豚

(1) 東33-47マグネット、スインポール (4群 16頭)

項 目		単位	平均値±標準偏差	最高～最低	標準偏差～標準偏差	変異係数～標準偏差
検定日数		日	114.66±1.73	127～103	6.70±1.22	5.85±1.10 [%]
検定終了時日令		日	187.75±2.79	217～180	10.81±1.97	5.76±1.09
1日平均嚙体重		g	612±9.08	673～551	35.18±6.42	5.75±1.08
飼料要求率			3.296±0.03	3.584～3.010	0.13±0.02	4.12±0.77
屠肉歩留		%	68.76±0.38	71.4～67.0	1.50±0.27	2.19±0.40
背腰長Ⅱ		cm	64.70±0.43	68.0～61.2	1.67±0.30	2.58±0.47
コースの断面積		cm ²	18.04±0.80	24.0～13.5	3.13±0.57	17.35±3.26
脂肪層の厚さ	肩	cm	4.21±0.09	5.2～3.7	0.37±0.06	8.83±1.73
	背	cm	2.30±0.11	2.9～1.6	0.44±0.08	19.43±3.65
	腰	cm	3.00±0.09	3.6～2.7	0.36±0.06	12.23±2.26
	平均	cm	3.17±0.10	3.63～2.60	0.41±0.07	12.67±2.35
ハムの割合		%	29.88±0.30	31.5～28.0	1.19±0.21	3.98±0.74

6 豚の椎骨数と産肉能力ならびに飼料の利用性に関する研究

1 研究目的

豚の胸腰椎数には変異があり、しかもその多少は屠体長や背腰長に関係があり、さらに産肉量にも影響があるのではないかとされているので、種豚の改良選抜上の基礎資料とするため、当場で分娩した子豚の椎骨数の発現状況をレントゲン写真により調査した。

2 研究方法

1) 調査頭数および期間

ヨークシャー種 34/頭

37年8月15日より38年3月31日まで

2) 撮影方法

生後7日前後の子豚をエーテル吸入法により麻酔し40mAレントゲン